

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	ヒトにおける脳脊髄液腔と頭頸部リンパ節を交通する解剖学的経路の同定		
1. 研究の目的と方法	脳とそれ以外の箇所との免疫系については現在詳しいことはわかっておりません。近年、ラットやマウスといったげっ歯類では徐々にリンパ組織と脳とのつながりがわかってきております。われわれは、げっ歯類での検討で頭頸部のリンパ組織と頭の中との間に新規のネットワークを見つけました。今後の医学に同経路を応用するに当たり、ヒトにおいて同じような構造があることを示すことが必要となりますが、過去に研究では報告がありません。そこで、当大学へご献体頂きましたご遺体を用いて、特殊な色素及び造影剤を使用し、CT や解剖を行うことで頭蓋内と頭頸部のリンパ組織のつながりを見出すことを目的としております。 ＊リンパ組織：何等かの感染や病気となる際、体はその病気のもととなる細胞を攻撃するための抗体を産生する必要があります。そういった抗体が産生される場所をリンパ組織と呼んでおります。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	当大学へご献体頂きましたご遺体を対象とさせていただきます。 ただし、頭頸部の腫瘍にたいする治療後(手術や放射線治療)、脳卒中などの既往、頸椎などの治療を行っている方のご遺体は対象外とさせていただきます。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	本学へご献体頂きましたご遺体を使用いたします。	
	(2) 試料の取得の方法	必要な場合は、ご遺体よりリンパ組織に関連した組織を採取することがあります。	
	(3) 情報の種類	ご遺体の年齢や性別に加え、特殊な色素の通り道の写真や CT などの画像を撮影した場合はその CT の絵を観察いたします。	
	(4) 情報の取得の方法	実際にご遺体を解剖することで取得する予定となっております。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 薬理学講座
		氏名	青木 友浩
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 解剖学講座 岡部 正隆	
	(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 5 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 薬理学講座 研究責任者：教授 青木 友浩（あおき ともひろ） 窓口担当者：研究実習生 井谷 理彦（いたに まさひこ） 電話番号：03 - 3433 - 1111（内線 2251） 対応時間：平日 10:00 ～ 16:00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。